

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テレビ朝日

コード番号 9409 URL <http://www.tv-asahi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 早河 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 森岡 信夫

TEL 03(6406)1111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	115,694	2.8	3,799	112.4	5,013	70.8	2,322	112.0
22年3月期第2四半期	112,537	△10.1	1,788	△35.4	2,935	△25.1	1,095	△16.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	2,312.13	—
22年3月期第2四半期	1,090.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	298,010	238,220	78.2	231,958.01
22年3月期	303,261	239,895	77.4	233,753.83

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 232,982百万円 22年3月期 234,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
23年3月期	—	1,000.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,800	1.5	8,500	17.8	10,400	18.9	5,500	81.8	5,475.81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	1,006,000株	22年3月期	1,006,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	1,582株	22年3月期	1,582株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	1,004,418株	22年3月期2Q	1,004,418株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
平成23年3月期 第2四半期決算短信補足資料	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益が改善し個人消費が持ち直すなど、自律的回復に向けた動きもみられましたが、円高が急速に進行するなど先行きに関しては不透明な状況が続きました。

広告業界におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を上回るなど、緩やかに回復しております。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業においても収益確保に努め、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,156億9千4百万円(前年同期比+2.8%)、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,118億9千4百万円(同+1.0%)となりました結果、営業利益は37億9千9百万円(同+112.4%)となりました。

また、経常利益は50億1千3百万円(同+70.8%)、四半期純利益は23億2千2百万円(同+112.0%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①テレビ放送事業

タイム収入は、依然スポンサーの固定費削減傾向が根強いものの、23時台のネットセールス枠新設、一社提供番組の導入などにより、レギュラー番組のセールスは前年同期に比べ増収となりました。単発番組についても、「2010FIFAワールドカップ南アフリカ」、ドラマスペシャル「TRICK 新作スペシャル 2」やスポンサーのニーズに合った番組などを編成することで増収を達成し、タイム収入合計は426億7百万円となりました。

スポット収入は、前年下半期から続く回復基調の流れもあり、好調に推移しました。業種別では、「出版」や「家庭用品」は低調でしたが、「サービス・娯楽」「輸送機器」「金融・保険」「衣料・身の回り」をはじめ16業種中10業種が前年同期を上回る伸びとなりました。その結果、スポット収入は420億4千3百万円となりました。

また、番組販売収入は60億7千4百万円、その他収入は96億3千6百万円となりました。

以上の結果、テレビ放送事業の売上高は1,003億6千1百万円、営業費用が982億1千3百万円となりました結果、営業利益は21億4千8百万円となりました。

#### ②音楽出版事業

“ケツメイシ”のシングル2作品のリリースや“HY”の全国ツアー、また、音楽著作権の管理事業が好調に推移したことなどにより、音楽出版事業の売上高は36億3千万円となりました。また、営業費用は31億8千7百万円となりました結果、営業利益は4億4千2百万円となりました。

#### ③その他事業

携帯電話向け会員制有料情報サービスの「EZニュースEX」が堅調なインターネット事業が好調に推移したものの、前年同期にあったバラエティー番組「アメトーーク」のDVD化の反動減などにより、その他事業の売上高は160億1千2百万円、営業費用は147億8千8百万円となりました結果、営業利益は12億2千4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比52億5千万円減の2,980億1千万円となりました。これは、投資有価証券が時価の下落などにより74億1千4百万円減少したことなどによります。

負債合計は、支払手形及び買掛金が20億6百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比35億7千5百万円減の597億9千万円となりました。また、純資産合計はその他有価証券評価差額金が31億1千万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比16億7千5百万円減の2,382億2千万円となりました。この結果、自己資本比率は78.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上高に大きな影響をおよぼすテレビ広告市場は、上半期については緩やかな回復傾向が見られましたが、下半期については円高の影響などもあり、先行き不透明な状況となっております。当社グループは、テレビ広告収入拡大に向けた取り組みを行うほか、音楽出版事業、その他事業についても売上拡大に継続的に注力を行います。そのため、通期の連結業績予想につきましては、平成22年10月1日に公表いたしました数値を変更しておりません。また、通期の個別業績予想につきましても、同日公表の数値を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### 1. たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の商品等のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、商品等の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### 2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

##### 1. 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益が437百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,743	9,720
受取手形及び売掛金	58,683	60,311
有価証券	51,099	51,103
たな卸資産	8,685	10,915
その他	7,287	6,580
貸倒引当金	△158	△133
流動資産合計	134,339	138,497
固定資産		
有形固定資産		
土地	30,747	21,173
その他(純額)	42,051	44,962
有形固定資産合計	72,799	66,136
無形固定資産		
その他	6,491	6,754
無形固定資産合計	6,491	6,754
投資その他の資産		
投資有価証券	68,885	76,300
その他	15,829	15,907
貸倒引当金	△335	△334
投資その他の資産合計	84,379	91,872
固定資産合計	163,671	164,763
資産合計	298,010	303,261
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,314	13,320
未払法人税等	1,785	540
役員賞与引当金	46	82
その他	31,339	34,386
流動負債合計	44,486	48,330
固定負債		
退職給付引当金	13,292	13,196
役員退職慰労引当金	596	560
その他	1,414	1,277
固定負債合計	15,303	15,034
負債合計	59,790	63,365

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342
利益剰余金	144,052	142,736
自己株式	△321	△321
株主資本合計	235,717	234,400
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,594	516
繰延ヘッジ損益	4	—
為替換算調整勘定	△144	△130
評価・換算差額等合計	△2,734	385
少数株主持分	5,237	5,109
純資産合計	238,220	239,895
負債純資産合計	298,010	303,261

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	112,537	115,694
売上原価	85,572	84,667
売上総利益	26,964	31,026
販売費及び一般管理費	25,175	27,226
営業利益	1,788	3,799
営業外収益		
受取利息	102	84
受取配当金	417	457
持分法による投資利益	314	480
その他	424	324
営業外収益合計	1,258	1,346
営業外費用		
固定資産廃棄損	95	67
その他	15	65
営業外費用合計	111	132
経常利益	2,935	5,013
特別損失		
投資有価証券売却損	—	63
投資有価証券評価損	—	171
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	437
特別損失合計	—	671
税金等調整前四半期純利益	2,935	4,342
法人税等	1,367	1,863
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,478
少数株主利益	472	156
四半期純利益	1,095	2,322

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月30日）

（単位：百万円）

	テレビ放送 事業	音楽出版事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	95,042	3,394	14,100	112,537	—	112,537
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,633	72	2,749	4,455	(4,455)	—
計	96,675	3,466	16,850	116,992	(4,455)	112,537
営業利益	△124	403	1,529	1,807	( 18)	1,788

(注)1. 事業区分は売上集計区分によっております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

テレビ放送事業：テレビ放送時間の販売、番組の販売、商品化権利収入

音楽出版事業：音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業等

その他事業：イベント事業、ビデオ・DVD販売、出版、出資映画事業、ショッピング事業及び放送用機器等の販売等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社内に事業別の管理部署を置き、各管理部署は、取り扱う事業についての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業別のセグメントから構成されており、「テレビ放送事業」「音楽出版事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

「テレビ放送事業」は、当社が放送するテレビ番組の制作及び放送に係る事業であり、「音楽出版事業」は音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業であり、「その他事業」はテレビ番組を中心としたコンテンツから派生、テレビ放送と連携する事業であり、イベント事業、DVD販売、出資映画事業、ショッピング事業等を網羅的に展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	98,813	3,518	13,362	115,694	—	115,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,548	112	2,650	4,310	(4,310)	—
計	100,361	3,630	16,012	120,004	(4,310)	115,694
セグメント利益	2,148	442	1,224	3,815	( 15)	3,799

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成23年3月期 第2四半期決算短信補足資料

1. 連結損益計算書

(単位：百万円)

	22年3月期第2四半期	23年3月期第2四半期	前年同期比	
			22年3月期第2四半期	23年3月期第2四半期
売上高	112,537	115,694	3,156	2.8%
タイム収入	41,029	42,607	1,577	3.8%
スポット収入	39,449	42,043	2,594	6.6%
番組販売収入	5,861	5,801	△ 60	△ 1.0%
その他収入	8,701	8,361	△ 340	△ 3.9%
音楽出版収入	3,394	3,518	124	3.7%
その他事業収入	14,100	13,362	△ 738	△ 5.2%
営業費用	110,748	111,894	1,145	1.0%
営業利益	1,788	3,799	2,010	112.4%
売上高営業利益率	1.6%	3.3%	1.7%	
営業外収益	1,258	1,346	87	6.9%
(うち持分法による投資利益)	( 314)	( 480)	( 165)	( 52.8%)
営業外費用	111	132	20	18.3%
経常利益	2,935	5,013	2,078	70.8%
売上高経常利益率	2.6%	4.3%	1.7%	
特別損失	—	671	671	—
(うち投資有価証券売却損)	( —)	( 63)	( 63)	( —)
(うち投資有価証券評価損)	( —)	( 171)	( 171)	( —)
(うち資産除去債務 会計基準の適用に伴う影響額)	( —)	( 437)	( 437)	( —)
税金等調整前四半期純利益	2,935	4,342	1,406	47.9%
法人税等	1,367	1,863	495	36.2%
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,478	—	—
少数株主利益	472	156	△ 316	△ 66.9%
四半期純利益	1,095	2,322	1,226	112.0%

## 2. セグメント情報

(単位：百万円)

	22年3月期第2四半期	23年3月期第2四半期	前年同期比	
テレビ放送事業				
売上高	96,675	100,361	3,686	3.8%
タイム収入	41,367	42,607	1,239	3.0%
スポット収入	39,491	42,043	2,552	6.5%
番組販売収入	6,136	6,074	△ 61	△ 1.0%
その他収入	9,680	9,636	△ 44	△ 0.5%
営業費用	96,800	98,213	1,412	1.5%
営業利益	△ 124	2,148	2,273	—
音楽出版事業				
売上高	3,466	3,630	163	4.7%
営業費用	3,063	3,187	124	4.1%
営業利益	403	442	38	9.6%
その他事業				
売上高	16,850	16,012	△ 837	△ 5.0%
営業費用	15,321	14,788	△ 532	△ 3.5%
営業利益	1,529	1,224	△ 304	△ 19.9%
消去又は全社				
売上高	△ 4,455	△ 4,310	144	△ 3.2%
営業費用	△ 4,436	△ 4,295	140	△ 3.2%
営業利益	△ 18	△ 15	3	△ 18.9%
合 計				
売上高	112,537	115,694	3,156	2.8%
営業費用	110,748	111,894	1,145	1.0%
営業利益	1,788	3,799	2,010	112.4%

※第1四半期連結累計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しておりますが、上記補足資料では参考情報として、前第2四半期連結累計期間の区分等に基づいて実績を表示しております。

### 「その他事業」セグメント 売上高の明細

(単位：百万円)

	22年3月期第2四半期	23年3月期第2四半期	前年同期比	
ショッピング事業収入	4,560	4,221	△ 339	△ 7.4%
イベント事業収入	2,870	1,964	△ 906	△ 31.6%
インターネット関連収入	1,355	1,655	300	22.2%
DVD販売収入	1,199	1,452	252	21.1%
CS事業収入	1,153	1,244	90	7.9%
出資映画事業収入	1,077	1,113	36	3.4%
その他	4,633	4,361	△ 272	△ 5.9%
合 計	16,850	16,012	△ 837	△ 5.0%

3. 損益計算書 (個別)

(単位：百万円)

	22年3月期第2四半期	23年3月期第2四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	100,962	104,002	3,040	3.0%
タイム収入	41,511	42,607	1,095	2.6%
スポット収入	39,523	42,043	2,520	6.4%
番組販売収入	6,138	6,074	△ 64	△ 1.0%
その他収入	868	869	0	0.0%
その他事業収入	12,919	12,408	△ 511	△ 4.0%
営業費用	100,800	101,692	891	0.9%
営業利益	161	2,310	2,148	—
売上高営業利益率	0.2%	2.2%	2.0%	
営業外収益	1,682	1,449	△ 232	△ 13.8%
営業外費用	108	112	3	3.4%
経常利益	1,735	3,648	1,912	110.2%
売上高経常利益率	1.7%	3.5%	1.8%	
特別損失	—	642	642	—
(うち投資有価証券売却損)	( — )	( 34 )	( 34 )	( — )
(うち投資有価証券評価損)	( — )	( 171 )	( 171 )	( — )
(うち資産除去債務 会計基準の適用に伴う影響額)	( — )	( 437 )	( 437 )	( — )
税引前四半期純利益	1,735	3,005	1,270	73.2%
法人税等	523	1,138	615	117.6%
四半期純利益	1,212	1,867	655	54.1%